

秘

朝特報第一二號

大正八年五月一日

騷擾事件ニ關スル狀況

(自四月三十一日
至四月十六日)

朝鮮軍參謀部

2203

2219

自四月十六日騷擾事件ニ關スル狀況
至四月三十日

本期間騷擾ノ箇所ハ僅々十數箇所ニシテ前期
間ニ比シ著シク減少シ四月二十三日以後ハ殆
ト騷擾其跡ヲ絶ツニ至シ然レトモ此靜穩ヲ
持續シツツアルハ軍隊ノ稠密ナル分散配置
ト警務機關ノ監視ニヨリ蠢動ノ餘地ヲ其ハ
ナルニ依ルモノニシテ裏面ニ於ケル暗流ハ未タ俄ニ
警戒ノ平ヲ緩フスルヲ得ス現在ニ於ケル軍隊ノ
分散配置箇所ハ五百數十箇所ニ及ハリ
以下各方面ノ狀況ヲ述ブルハ左ノ如シ

京畿道

四月十六日水原郡南陽ニ於テ若干ノ騷擾アリ

2204

2220

三外一般ニ靜穩ナリ

黃海道

本期間騷擾ノ箇所ハ僅々四箇所ニ過キサ
ルモ他方面ニ比シ危險的分子ハ尚多キヲ見ル

平安南北道

四月十六日平北中江鎮南方約五里長城
里ニ於テ不穩ノ形勢アリシモ其他ハ一般ニ靜
穩ナリ

咸鏡南北道

四月十七日明川郡内ニ箇所及四月十九日清津
ニ於テ不穩ノ形勢アリシモ其他ハ一般ニ靜穩

2205

2221

ナリ

江原道

四月十六日 塩陽郡 下北面ニ於テ騒擾アリシ
外一般ニ静穏ナリ

忠清南道

四月十七日 忠北堤川ニテ約千名ノ群集騒擾
シ暴民側死一、傷ニヲ出セシ外一般ニ平穏ナリ

会羅南北道

四月十八日 会北扶安郡 菴浦ニ於テ學生ノ
騒擾ナル運動アリシ外事事故ナシ

慶尚南北道

2206

2222

四月十六日慶南金海、同十八日慶南晋州ニ
於テ騷擾アリ之外一般ニ靜穩ナリ
之ヲ要スルニ本期間ニ於ケル騷擾ノ箇所ハ前
期間ニ比シ激減シ騷擾ハ今ヤ表面上鎮靜
ニ歸セリト雖モ一旦民心ニ浸潤セシ獨立思
想ハ容易ニ除去スルヲ得ス即チ表面ノ靜穩ハ
軍隊ノ稠密至嚴ナル配置ニ依ルモノニシテ民心ノ
安定ヲ得ル迄ニハ尚多クノ日子ヲ要スルモノト
認ム但シ地方ニ依リテハ自衛團(自他相戒メ
テ煽動者ノ甘言ニ乘セラルル如キニトナク騷
擾ヲ惹起セサルヲ主義トス)ヲ組織セル所アリ
然レ督齊ニ於テモ之カ設立ヲ獎勵スツツ

2207

2223

アリテ將來自衛團ノ設立増加ニ伴ヒ其ノ効
果大ナルハト信ス

本期間各地騷擾ノ景況ヲ表示セハ巻尾附

録ニ示ス此ニ(附圖第一第二参照)

軍隊ノ配置ニ就テ

增加派遣部隊上陸ニ伴ヒ逐次軍隊ハ新配置

ニ就キ四月二十一日ヨリテ新配置ヲ完了セリ

其ノ配置ノ景況ハ附圖第三ニ示ス如シ

圖們江及鴨綠江對岸方面

圖們江對岸方面

四月二十三日琿春縣荒溝北一學校ニ於ケル

示威運動視察ノ為出張セル鮮人巡查一名

2208

2224

CSM01

暴行ヲ受ケ重傷ヲ受ヘリ警戒ノ支那兵及
巡警ハ主謀者梁河、朴光桓ヲ逮捕シ頭
事ハ其ノ引渡ヲ要求シ二十六日慶源分隊ニ引
致セリ

以上ノ外銃器蒐集或ハ朝鮮國境ヲ襲フ等ノ
情報頻々タルモ多クハ流言蜚語ニシテ容易ニ
信ヲ措キ難キモ故芥大甸子、三金、瑯春、局
子街ト氣脈ヲ通シ德密ノ間續テ何等カノ
畫策ヲナシツツアルモノト判断セラルルニテ
接壤地方ニ於ケル排日氣勢旺盛ナル結果
ハ其ノ影響鮮外ニ波及スルニト大ナルヲ以
テ將來一層在外不逞鮮人ニ對シ檢擧懷柔

2209

2225

等ニ努ムルヲ要ス

琿春方面謀報蒐集ノ目的ヲ以テ目下將校一

如ク琿春ニ滞在セシメアルモ近ク第十九師團參

謀秋川大尉ヲ琿春ニ派遣シ目下滞在シアル將

校ト交代謀報蒐集ニ任セシムル筈ニシテ五月

二日琿春到着ノ筈

鴨綠江對岸方面

樺田縣地方ヨリ啟来シタル者ノ談ニ依リハ樺

田縣頭道溝南一學校長朴時鐘ハ獨立陣幕

集ニ着手シ既ニ五十名ヲ募集シ武器購入

費數万吊ヲ得タリト固ヨリ俄ニ信ヲ措キ難

キモ鴨綠江對岸地方ニ於テモ暗ク裡ニ何等

2210

2226

カノ畫策ヲ廻ラシツツアルカ
ク大ナル騷擾ヲ惹起スヘシトハ判断セラレス
鴨綠江對岸方面情報蒐集ノ目的ヲ以テ
步兵第七十七聯隊ヨリ將校一名ヲ通溝ニ派遣
當分ノ駐在セシムル筈ナリ

2211

2227